

区 分	個別	案件番号	3-2
-----	----	------	-----

## 救急活動事務に係る個人情報のオンライン結合による提供について（諮問）

消防局救急課救急管理係

### 1 救急活動事務について

#### (1) 事務（事業）の名称

救急活動における ICT を利用した医療機関との情報共有

#### (2) 事務（事業）の根拠・目的

救急活動時には、医療機関側が傷病者の受け入れ可能か迅速に判断することが必要となります。また受け入れ可能時に、あらかじめ傷病者情報及び現場情報を医療機関と共有することにより、救急車到着前から治療準備を行うことが可能となり、早期に高度な治療実施が可能となります。

#### (3) 事務（事業）の概要

TXP メディカル社製救急隊アプリを使用した実証実験に参加し、現場等の画像や救急隊の行った観察結果を、タブレット等を使用して医療機関と情報共有することの有効性を検証します。実証実験を経た後に、本格導入を検討します。

### 2 本件諮問に至る経緯及び諮問理由について

新たなシステムによる医療機関との個人情報（テキスト情報、現場画像）の共有であり、横須賀市個人情報保護条例第 12 条第 2 項に規定するオンライン結合に該当すると思われるため、同項の規定に基づき本審議会に意見を求めるものです。

### 3 オンライン結合の内容について

TXP メディカルとの実証実験においては、救急車内端末へ入力された傷病者情報（氏名、住所等を手入力するか免許証等を画像 OCR でデータ化）、バイタルサイン（モニターを撮影し画像 OCR でデータ化）、服薬情報（お薬手帳を撮影し画像 OCR でデータ化）が医療機関側端末と情報共有されます。さらに事故事案では、現場の写真（車両等の破損状況、出血状況などから傷病者に加わったエネルギーを予測）を共有することで、高エネルギー外傷の予測や輸血の要否判断につながり、早期医療介入が期待できます。

あわせて、現在の「救急医療支援システム」による、救急車内のリアルタイムの映像伝送と比べ、車外（現場）の画像、観察結果などをテキストデータで共有することにより、より精度の高い情報提供が可能となります。さらに、車両端末にテキストデータが一時保管されることから、将来的に救急事務処理システムとの連携も可能です。

#### 4 オンライン結合により提供する保有個人情報について

提供先	提供する情報	理 由
TXP メディカル社 製救急隊アプリ実 証実験参加医療機 関	氏名・住所・性別・生 年月日・電話番号・観 察データ・必要により 画像	搬送依頼の連絡時に音声に加え、テキストデ ータ及び画像の提供が行われることで、早期 医療介入が期待できます

#### 5 安全管理措置等

- (1) 救急隊が使用する端末（タブレットまたはスマートフォン）は、紛失、盗難等のないよう、消防署内では施錠可能な場所に保管し厳重に管理します。救急車内での使用が基本となりますが車外へ持ち出す場合はストラップ等を使用し紛失防止に努めるほか、IDとパスワード認証でセキュリティ保護に努めます。
- (2) サーバ内に保存している氏名等の個人を特定できる情報は、48 時間後に削除されます。端末内のデータについても、48 時間後に削除とする予定です。
- (3) 通信のセキュリティについては、添付資料P11 のとおりです。

#### 6 添付資料

TXP Medical

救急医療情報システム NSER Mobile とOAシステムとデータ連携のご提案

(実際の運用方法予定と異なる部分があります。参考資料としてご覧ください。)